

# 紙面紹介3種の特定外来生物の防除にご協力下さい

特定外来生物は、繁殖力が非常に強いので、①在来生物の減少や絶滅②農作物への被害など悪影響を及ぼします。

飛騨市では「外来生物法」に指定されている特定外来生物の植物3種類が特に多く確認されており、被害拡大を防ぐため防除が必要です。



特徴：花びらが垂れている



他の植物を締め出して大群落となる

湿り気のある場所に群生

草丈が長い大型の植物で山間地などの湿り気がある場所を好みます。中央の筒状花が半球状に盛り上がり、花びらが垂れ下がるのが特徴です。

根元が紫色で「ツン」とした匂い

成長した茎は非常に硬く、根元部分は紫色、独特の「ツン」とした匂いがします。

地下茎（根）からは発芽抑制物質を分泌して他の植物を近くに生えさせない特殊の能力により大群落となってしまいます。

開花時期 7月～10月  
草丈 50cm～3m

## 「生態系被害防止外来種リスト」が作成されました



多くいる外来種の中から、特に注意が必要な外来種をリストアップし、生態系等への被害を防止することを目的として、平成28年3月に国（環境省、農林水産省）により、「生態系被害防止外来種リスト」が作成されました。このリストでは、外来種は3種類のカテゴリに分類されています。

総合対策外来種 …… 310種  
(総合的に対策が必要な外来種)

産業外来種 …… 18種  
(適切な管理が必要な産業上重要な外来種)

定着外来種 …… 101種  
(定着を予防する外来種)

(環境省提供)

生態系被害防止外来種リストは <https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html> から閲覧できます。

## ボランティア募集中!

毎年、地域団体や企業など、多くの団体に、ボランティア防除のご協力をいただいております。

市役所では「防除方法」「処分方法」などの事前相談や、現場での防除作業講習など積極的に支援します。お気軽にご相談ください。



▲R1.6.26 吉城高等学校 様



▲R1.7.6 連合岐阜飛騨地域協議会 様



▲R1.6.13 (株)KVK 様

### 皆様のご協力をお願いします。



WANTED

# オオキンケイギク (キク科 多年草)



特徴 鮮やかな黄色の花



特徴 葉の両面には粗い毛

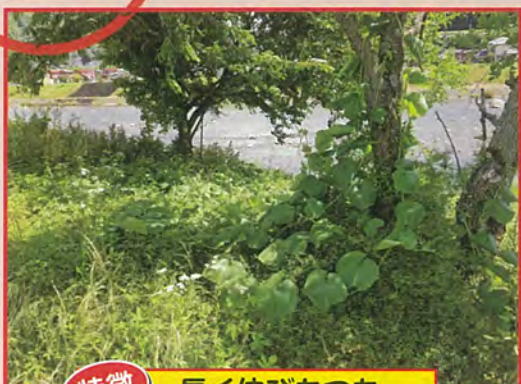
コスモスに似た花で人の居住エリアを中心に群生

開花時期 5月～8月  
草丈 50cm～1m

道路沿いや河川敷、住宅地、墓地など人が住む居住エリアを中心に群生しており、コスモスに似た美しい花を咲かせ、株になってどんどん広がっていきます。葉は薄い緑色で粗い毛があります。荒地でも生育することから以前は法面緑化として利用し、栽培する人も多かったようですが、現在は積極的な防除・駆除を呼びかけています。

WANTED

# アレチウリ (ウリ科 一年草)



特徴 長く伸びたつた



特徴 金平糖のような形の果実

河川敷に多く群生

繁殖期 8月～10月

日当たりのよい場所を好み、河川敷に多く群生しています。

黄白色の花を咲かせたあと、表面は白いとげに覆われた金平糖のような形の果実を作ります。生育速度は非常に早く、つるの長さは数メートルから数十メートルになります。枝分かかれながら成長し、生育している箇所的一面を覆ってしまいます。

## 防除方法

防除方法の基本は…

人力で抜いて → 干して枯らして → 燃えるごみ

### <推奨防除方法>

根こそぎ引き抜いて、できる限り根等を拡散させないように 2～3 日天日にさらすなど枯死させた後、ごみ袋に詰め、燃えるごみとして出してください。

防除の際に使用のごみ袋は、環境課に事前に申請いただければ無料でお渡しします。



▲ 根こそぎ引き抜く様子



▲ 剪定ばさみでオオハンゴンソウを切りわかる様子

防除のポイント 其の一 種が付く前に。→ 早めに。

防除のポイント 其の二 毎年繰り返す。→ 根気よく。

## 効果的な駆除方法は「人力による抜き取り」です。

### ▶▶ 種がある場合の防除作業

種が落ちないようにビニール袋などに入れて封をして燃えるごみとして出してください。

### ▶▶ やむをえず草刈りによる駆除をする場合

定期的に、繰り返し草刈りを行う事で次第に群生の勢いは弱まります。



▲ 種が飛び散らないように上から袋を覆うように回収する様子

外来生物は 意外と あなたの近くに! 防除方法・他2種の外来種は

内面